

# 21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター 2004年度の活動

## 1. 第3回シンポジウム

日時：2004年12月4日 14:00～16:30  
会場：東洋大学白山校舎井上円了ホール

### テーマ

地震から地域を守るために - 今、地域に問われる  
ものは何か

### コーディネーター

田中 淳（東洋大学社会学部教授）

### パネリスト

阿部勝征（東京大学地震研究所教授・地震予知  
情報センター長）  
大矢根淳（専修大学文学部助教授）  
清水 裕（昭和女子大学人間社会学部助教授）  
大野元昭（文京区千駄木三丁目北町会副会長）  
伊藤達彦（文京区総務部長）

## 2. 研究交流会

### (1) 第2回 HIRC21研究交流会

日時：2005年2月9日（水）18:00より  
場所：東洋大学 雨水会館3階 302会議室

講演者：小林敦子（日本大学大学院総合社会情報研  
究科）

講演題目：ジェンダー・ハラスメントが女性の達成  
動機に及ぼす影響—地方公務員の職場から—

### (2) 第3回 HIRC21研究交流会

日時：2005年3月15日（水）14:00～16:00  
場所：雨水会館2階会議室

講演者：片山美由紀（東洋大学社会学部）

講演題目：サッカーアジアカップ2004におけるブ  
ーイングの問題視および原因帰属～マスメディ  
アの影響と限界、補完メディア・インターネットの  
可能性

講演者：片平冽彦（東洋大学社会学部）  
益川順子（東洋大学大学院・福祉社会シス  
テム専攻）

安井真希子（東洋大学大学院・社会福祉学  
専攻）

牧野忠康（日本福祉大学社会福祉学部）

講演題目：薬害事件における加害・被害関係と社会  
～「薬害ヤコブ病」と「薬害肝炎」の場合

## 3. ホームページ

初年度に立ち上げたホームページ（<http://hirc21.soc.toyo.ac.jp/>）に、研究年報やシンポジウムの映像記録、関係者の研究資料等を掲載した。

## 4. 研究年報の発行

研究年報第2号（本号）を発行した。

## 5. 書籍の出版

「現代人のこころのゆくえ：ヒューマン・インタラク  
ションの諸相」を出版した。執筆者及びタイトルは  
以下の通り。

- (1) 船津衛 「ヒューマン・インタラクションへの視座」
- (2) 細井洋子・原山哲・鴨志田康弘 「犯罪被害者」の理  
解に向けて—神戸児童連続殺傷事件被害者遺族手  
記から—
- (3) 原山哲 「ディスコース・アナリシスの方法論的諸問  
題」
- (4) 小口孝司・松野隆則・内藤淳 「感情統御理論（Affect  
Control Theory）とその応用」
- (5) 田中淳
- (6) 片山美由紀 「サッカーアジアカップ2004における  
ブーイングの問題視および原因帰属の再考：補完メデ  
ィア・インターネットの可能性」